

【 第8回 女子ユースアジア選手権 】

2019年8月20日～8月30日 開催地:インド

試合結果報告 8 月 30 日 (金)

JAPAN	vs	カザフスタン
16	1st	13
25	2nd	8
	ex	
	ex	
41	TOTAL	21

個人得点

No.	ポジション	NAME	1st	2nd	ex	ex	TOTAL
1	GK	加藤 愛望					0
2	PV	中嶋 紗央		4			4
4	CB	松浦 未南	5	5			10
5	LW	掛本 梓乃	4				4
6	LW	木村 萌雅		4			4
7	CB	福井 すみれ		2			2
8	RW	鶴田 文乃		2			2
9	LB	藤原 ひなた	1	1			2
10	LB	西田 瑞歩	2	1			3
11	RB	布施 蓮		1			1
12	GK	中村 理乃					0
13	RW	萩尾 ほのか	3	1			4
14	RB	石川 空		2			2
15	PV	伊藤 結衣	1	1			2
16	GK	比嘉 楓					0
18	LB	升澤 結菜		1			1
TOTAL			16	25	0	0	41

戦況

大会最終日の3位決定戦は、大型ポストを擁するカザフスタンとの対戦となった。エリア際で押し込まれないようにDFすることを確認してゲームに臨んだ。

カザフスタンに連取を許す展開でゲームが始まる。序盤はボールを持ち、しつこく強く押し込んでくるプレーとポストの揺さぶりによってDFが孤立する状況が多く見られた。しかし、この攻撃に対して、高い位置でのアタックと二人で挟むDFが機能し始め、徐々に日本ペースとなる。

15分に日本が7-6とリードしたところでカザフスタンがタイムアウトを請求する。その後も日本は粘り強く守り、攻めてはCB松浦の小気味いいステップシュートなどで確実に加点し、16-13で前半を終了する。

ハーフタイムでは、前半のDFを継続することと速攻で短いパスを使うことを確認した。

後半はLW木村のサイドシュートで始まる。これで落ち着いた日本は、掛本のドリブルカットや藤原のポストパスへのカットなどを確実に得点につなげるなど、怒涛の9連続得点。10分過ぎには22-13と大きくリードを広げる。

その後も、守って速攻を繰り返して、相手に連続得点を許さず、41-21で勝利、銅メダルを獲得した。全員の活躍と出場CPの全員得点で大会最終戦を締めくくった。

報告記入者 :

小川 至門